



禁止条約とノーベル平和賞で安心して署名

県内10カ所で **新春** ヒバクシャ国際署名 一方で青年の争奪戦も

新年のヒバクシャ国際署名がとりくまれました。伊勢崎平和委、高崎・前橋の地域原水協でとりんだほか、新婦人は9カ所で行動。

(新婦人は7日、成人式2カ所で原水協の行動に参加し、さらに7地域で独自に行動しました)。新婦人のとりくみがまとまったら追って紹介します)



伊勢崎平和委員会(小矢野敏雄会長)は6日、県内初の新春6・9行動にとりくみ、コープ宮子店前で4人が参加し、25人から賛同がありました。「寒い中ごくろうさま」「ありがとう」(中年女性)など激励があり「日本政府が参加しないのはおかしい」という声も。参加した一人山口富雄さんは「国連で禁止条約が採択されたことやICANがノーベル平和賞をもらったことなどが知られていて”安心して”署名してくれた」と感想。

高崎原水協は7日、ヒバクシャ国際署名にとりくみました。樋口明広事務局長の報告です。

【本日は17名の参加で60筆でした。成人式に来賓で招かれた伊藤祐司県議、伊藤淳博市議もスピーチ。新婦人、平和委員会、民商、革新懇、共産党、九条の会、群退教が参加。昨年よりはいい反応でしたが、全体としてはいまひとつでした】



前橋原水協(小林敏男理事長)は7日の成人式でヒバクシャ国際署名を訴え、新婦人など5団体から18人が参加しました。65人の国際署名と、9条改憲NO!署名36人の賛同を広げました。「書きます!」と賛同する新成人もいますが、「大丈夫です」などとためらう人も目立ち、「青年対策が必要だね」と感想が。九条の会前橋連絡会や日本共産党なども宣伝する傍ら、自衛隊の勧誘宣伝も正面玄関でティッシュを配るなど“青年の争奪戦”でした。

群馬原水協拡大常任理事

・地域事務局長会議のご案内

1月18日(木)午後6時~8時

前橋協立病院隣・生協会館ホール

常任理事と地域原水協の事務局長の会議を開きます。議題は、ビキニデーのとりくみ、平和行進の日程を昨年と同じ11日間にするか否か、署名推進と交流、その他です。価



2018 ビキニデーパンフ

好評発売中です!

核兵器禁止条約やICANのノーベル平和賞受賞後、初のビキニデーを迎えます。群馬は2月28日~3月1日にバスで参加。「核兵器廃絶運動の原点ビキニデーが分かる」とパンフレットが好評です。パンフで新しい情勢を学習しましょう。頒価210円 問合せ・注文は群馬原水協 FAX027-257-3142 まで。